

母性看護学概論	1年・後期	1単位 30時間	教授 堀金幸栄
科目カテゴリ	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310831

1. 授業のねらい・概要

本科目は、学生が母性看護学の基盤となる概念や倫理、母子保健の現状と動向、母性看護学の機能と役割について学ぶ。また、女性のライフステージ各期の概観から、身体的・心理的・社会的・文化的背景を理解し、生活および健康問題に関する適切な看護について考察できるようになることを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 母性看護の概念や倫理、役割について説明できる。(D-1, D-2)
2. リプロダクティブヘルス/ライツの概念が説明できる。(D-2)
3. 生殖器と性周期について説明できる。(D-2)
4. 妊娠のメカニズムと性行動について説明できる。(D-2)
5. 人工妊娠中絶に関するディベートを行ない倫理的配慮について説明できる (D-2)
6. 出生前診断に関するディベートを行ない倫理的配慮について説明できる (D-2)
7. 生殖補助医療に関するディベートを行ない倫理的配慮について説明できる (D-2)
8. ライフステージの思春期の特徴と健康問題について説明できる。(D-2)
9. ライフステージの青年期の特徴と健康問題について説明できる。(D-2)
10. ライフステージの成熟期の特徴と健康問題について説明できる。(D-2)
11. ライフステージの更年期の特徴と健康問題について説明できる。(D-2)
12. ライフステージの老年期の特徴と健康問題について説明できる。(D-2)
13. 女性の健康を保持増進するための看護について説明できる。(D-2)
14. 母子保健の変遷と動向が説明できる。(D-2)
15. 母子保健の基盤となる法律を説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークや発表を取り入れ、アクティブな授業になるようにする。学生の主体的な取り組みを期待する。

【アクティブラーニングの実施の有無】

リプロダクティブヘルスに関する倫理では、ディベートを行ない異なる価値観について理解を深める。ライフステージ各期の健康問題と看護ではグループで調べ発表を行なう。各回のリアクションペーパーによるリフレクションを実施する。

【ICT活用の有無】

視聴覚教材の使用。Classroom等による学習課題の提示や提出。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	母性看護の基盤となる概念	講義	予習：教科書①p16～29、「母性看護	堀金幸栄

	ディベート・グループ発表・個人課題の説明		の中心概念」「母性看護実践を支える概念」を読む。 復習：母性看護の基盤となる概念の定義をまとめる。	
2	リプロダクティブヘルスに関する概念	講義	予習：教科書①p32～46,「リプロダクティブヘルス・ライツ」「セクシュアリティとジェンダー」を読む 復習：リプロダクティブヘルスに関する概念の定義をまとめる。	堀金
3	リプロダクティブヘルスに関する倫理①人工妊娠中絶	講義 ディ ベート	予習：教科書①p58～65を読み,人工妊娠中絶の是非について,ディベートの準備。 復習：人工妊娠中絶に関する社会的課題と看護師の倫理的配慮についてまとめる。	堀金
4	リプロダクティブヘルスに関する倫理②出生前診断	講義 ディ ベート	予習：教科書①p61～70を読み,出生前診断の是非について,ディベートの準備。 復習：出生前診断に関する社会的課題と看護師の倫理的配慮についてまとめる。	堀金
5	リプロダクティブヘルスに関する倫理③生殖補助医療	講義 ディ ベート	予習：教科書①p70～75を読み,生殖補助医療の倫理的課題について,ディベートの準備。 復習：生殖補助医療に関する見解,看護師の倫理的配慮についてまとめる。	堀金
6	生殖に関する生理 ①生殖器と性周期	講義	予習：教科書① p 106～119,「生殖器の解剖と機能」「女性の性周期」を読む。 復習：女性の性周期についてまとめる。	堀金
7	生殖に関する生理 ②妊娠のメカニズムと性行動	講義	予習：教科書① p 119～127,「妊娠のメカニズムと性行動」を読む。 復習：妊娠のメカニズムについてまとめる。	堀金
8	女性のライフサイクルと家族,母性の発達・成熟・継承	講義	予習：医学書院 p 127～154,「女性のライフサイクルと家族」「母性の発達・成熟・継承」を読む。 復習：母性の発達についてまとめる。	堀金
9	ライフステージ各期の健康問題と看護 ①(思春期・青年期)	グ ル ー プ 発 表 講 義	予習：教科書① p 130～144 を読む。 発表課題のトピックについて調べる。 発表グループは資料の準備と発表準備を行う。 復習：思春期・青年期の健康問題とそのケアについてまとめる。	堀金
10	ライフステージ各期の健康問題と看護 ②(青年期・成熟期)	グ ル ー プ 発 表 講 義	予習：教科書① p 91～98, 医学書院 p 289～326 を読む。発表課題のトピックについて調べる。発表グループは資料準備と発表準備を行う。 復習：青年期・成熟期の健康問題とそのケアについてまとめる。	堀金
11	ライフステージ各期の健康問題と看護 ③(成熟期)	グ ル ー プ 発 表 講 義	予習：教科書① p 145～179 を読む。 発表課題のトピックについて調べる。 発表グループは資料の準備と発表準備を行う。 復習：成熟期の健康問題とそのケアについてまとめる。	堀金
12	ライフステージ各期の健康問題と看護 ④(更年期・老年期)	グ ル ー プ 発 表 講 義	予習：教科書① p 182～196 を読む。 発表課題のトピックについて調べる。 発表グループは資料の準備と発表準備を行う。	堀金

			復習：更年期・老年期の健康問題とそのケアについてまとめる。	
13	リプロダクティブヘルスに関する動向	講義	予習：教科書②p49～71, 「出生, 死亡, 家族形成に関する統計」を読む 復習：我が国のリプロダクティブヘルスに関する動向の特徴をまとめる。	堀金
14	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援①	講義	予習：教科書①p78～88, 「子どもと女性の保護」「女性の就労」に関する法律について読む。 復習：リプロダクティブヘルスに関連する法律をまとめる。	堀金
15	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援② まとめ	講義	予習：教科書①p88～100, 「子育て支援に関する制度・施策」「周産期医療システム」について読む。 復習：リプロダクティブヘルスに関連する制度・施策やシステムについてまとめる。	堀金

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上出席した者）60%, グループ発表や個人課題レポート40%で総合的に評価する。グループ発表や課題レポートについては初回授業で説明する。評価方法はルーブリック評価（評価項目・基準・方法の詳細）を使用し、初回授業で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 中込さと子 他（2023）ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護（最新版），メディカ出版

2) 厚生労働統計協会（2025）厚生の指標増刊 国民衛生の動向 2025/2026, 厚生労働統計協会

参考書：森恵美 他（2026）系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論（最新版），医学書院
その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業の範囲（学修課題）についての教科書・レジュメで最低90分間以上の予習をして臨み、授業後最低90分以上の復習を行うこと。課題についてはグループで協力して準備すること。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席がないようにすることと、グループ課題に対して協力すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認し、内容の不備があるものは再提出を求める。

試験終了後、口頭で試験問題の解答と解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における助産師としての実務経験を活かして、講義を行う。